

第35回企画専門調査会(平成22年9月28日)資料  
 「(平成22年度)食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補について」抜粋

物質名(危害要因)	主要な物質(危害要因)に関する概要	国内外における状況等
カルシウム	健康な人が食事からカルシウムを多量に摂取しても健康障害が発生することは稀だが、サプリメントなどによる過剰摂取で、泌尿器系結石、ミルクアルカリ症候群、他のミネラルの吸収抑制などが起こることが知られている。	〈国内〉 ・食品安全委員会による評価：なし ・厚生労働省：「日本人の食事摂取基準（2010年版）」でカルシウム単独の多量摂取しても成人における健康障害の発生は稀であるとし耐容上限量（UL）を2.3g/日（成人男女）とした。  〈国外〉 ・ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)：UL2.5g/日（成人男女） ・UK：サプリメントとして1.500mg /日以下の補給は健康被害をもたらさない。